

Mizuho Daily Market Report

2023/10/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.49	150.40	+0.17	+0.60
EUR	1.0548	1.0563	▲0.0003	▲0.0019
AUD	0.6307	0.6322	+0.0013	▲0.0007
SGD	1.3718	1.3695	▲0.0012	▲0.0033
CNY	7.3191	7.3168	▲0.0004	+0.0064
MYR	4.7883	4.7870	+0.0070	+0.0170
THB	36.27	36.25	+0.06	▲0.21
IDR	15920	15920	+50	+105
PHP	56.97	56.97	+0.11	+0.11
INR	83.24	83.23	+0.04	▲0.01
VND	24607	24596	+25	+31

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.845%	▲11.0 bp	▲14.5 bp
日本(10年)	0.875%	+1.6 bp	+3.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.861%	▲2.8 bp	▲7.0 bp
オーストラリア(5年)	4.481%	+10.7 bp	+10.2 bp
シンガポール(5年)	3.315%	+3.7 bp	▲6.8 bp
中国(5年)	2.560%	+0.5 bp	▲6.4 bp
マレーシア(5年)	3.871%	+2.6 bp	+7.6 bp
タイ(5年)	2.975%	+0.3 bp	▲3.7 bp
インドネシア(5年)	7.169%	+4.3 bp	+29.0 bp
フィリピン(5年)	6.575%	▲1.1 bp	+23.7 bp
インド(5年)	7.358%	+2.4 bp	▲2.1 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,784.30	▲0.8%	▲1.9%
N225(日本)	30,601.78	▲2.1%	▲2.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,049.40	▲0.6%	▲1.0%
ASX(オーストラリア)	3,959.51	▲0.8%	▲2.0%
FTSTI(シンガポール)	3,071.31	▲0.2%	▲0.9%
SSEC(中国)	2,988.30	+0.5%	▲0.6%
KLSE(マレーシア)	63,148.15	▲1.4%	▲3.8%
SETI(タイ)	6,714.52	▲1.8%	▲1.9%
JKSE(インドネシア)	1,440.60	▲0.1%	▲0.1%
PSE(フィリピン)	6,018.49	▲0.6%	▲3.2%
SENSEX(インド)	1,371.22	▲2.2%	▲3.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,055.45	▲4.2%	▲3.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.52	▲0.6%	▲2.0%
金	1,984.71	+0.3%	+0.5%
原油(WTI)	83.21	▲2.6%	▲6.9%
銅	7,911.00	▲0.6%	▲0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.30	—	151.00
EUR/USD	1.0470	—	1.0700
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3600	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3380
USD/MYR	4.7120	—	4.8380
USD/THB	36.00	—	37.20
USD/IDR	15830	—	15970
USD/PHP	56.50	—	57.00
USD/INR	83.00	—	83.45
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

前日の海外時間で150円の節目を上抜け、アジア時間のドル円は150円台前半で取引を開始。日中を通してドル買いが優勢の展開となる中、ドル円は150円台前半で底堅く推移した。鈴木財務相による口先介入も相場への影響は限定的となり、アジア時間引け前には欧州勢によるドル買いも後押しとなり、年初来高値となるの150円台半ばをつけ海外時間へ渡った。

アジア通貨は軟調に推移。ドル高の流れが優勢となる中、多くのアジア通貨は対ドルで下落した。フィリピン中銀は物価上昇圧力の高まりを受けて緊急利上げを実施し、政策金利目標を0.25%引き上げ、6.50%とすることを発表。今週に入りレモナ総裁は利上げを示唆していたこともあり、為替相場への影響は限定的であった。

欧州時間のドル円は、アジア時間の流れを引きつぎ150円台後半まで上昇すると刹那に149円台後半まで急落。特段のヘッドラインがなかったこともあり程なく値を戻したものの介入警戒感の強さがうかがわれた。150円台半ばは米州時間の取引を開始。米州時間朝方に発表された米第3四半期GDPが予想を上回り、構成項目の個人消費でも予想以上もの伸びを見せた結果を受け、発表直後は小幅に上昇。しかし、同時に発表された米新規失業保険申請件数と米失業保険継続受給者数が共に予想より悪化した内容を受け、買いは長く続かず、150円台前半まで反落。その後9月中古住宅販売仮契約が予想より良好な内容や、ショートカバーが入った事を受け、150円台半ばまで戻す。米州時間午後は米7年債の好調な入札結果が上値を抑え、小幅反落しクローズ。

【金利】

米金利市場は、中長期ゾーンで平行に大幅低下。本日は第3四半期GDPの速報値が発表となり、強い内容を示したが、PCEコア指数は予想を下回り、発表後は特に売りが強まることもなかった。その後午後に発表された7年物国債の入札結果が堅調だったことで買いが優勢となり、その流れは引けまで続いた。

【予想】

本日のドル円は引続き150円台前半から半ばにかけての水準で神経質な値動きが継続すると予想。昨日も一時149円台まで急落する局面もあり、依然として為替介入への警戒感強い状況。一方でドル買い意欲は引続き根強いと感じられ、150円台前半から半ばの水準を中心とした値動きとなると予想する。

【本日の予定】

(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y、25y超
(アジア) 10月 NZ ANZ消費者信頼感指数
(アジア) 3Q シンガポール URA民間住宅価格(確)
(アジア) 3Q 豪 PPI
(アジア) 9月 中国 工業企業利益 / 工業利益
(欧州) 10月 仏 消費者信頼感
(欧州) 10月 伊 消費者信頼感指数 / 製造業信頼感指数 / 景況感指数
(欧州) 10月 愛 CP(速)
(欧州) 3Q 西 GDP(速)
(欧州) 8月 伊 工業売上
(欧州) 9月 伊 時間当り賃金
(欧州) 9月 愛 小売売上高
(欧州) 9月 独 小売売上高
(欧州) 9月 西 小売売上高
(米国) 10月 カンザシティ連銀サービス業活動
(米国) 10月 ミシガン大学消費者マインド(確)
(米国) 9月 PCEコアデフレーター
(米国) 9月 個人所得 / 個人支出 / 実質個人支出
(米国) 9月 個消物価デフレーター